

セキュリティHUB **CentreCOM 3100 Series**

Product Guide

アライドテレス株式会社

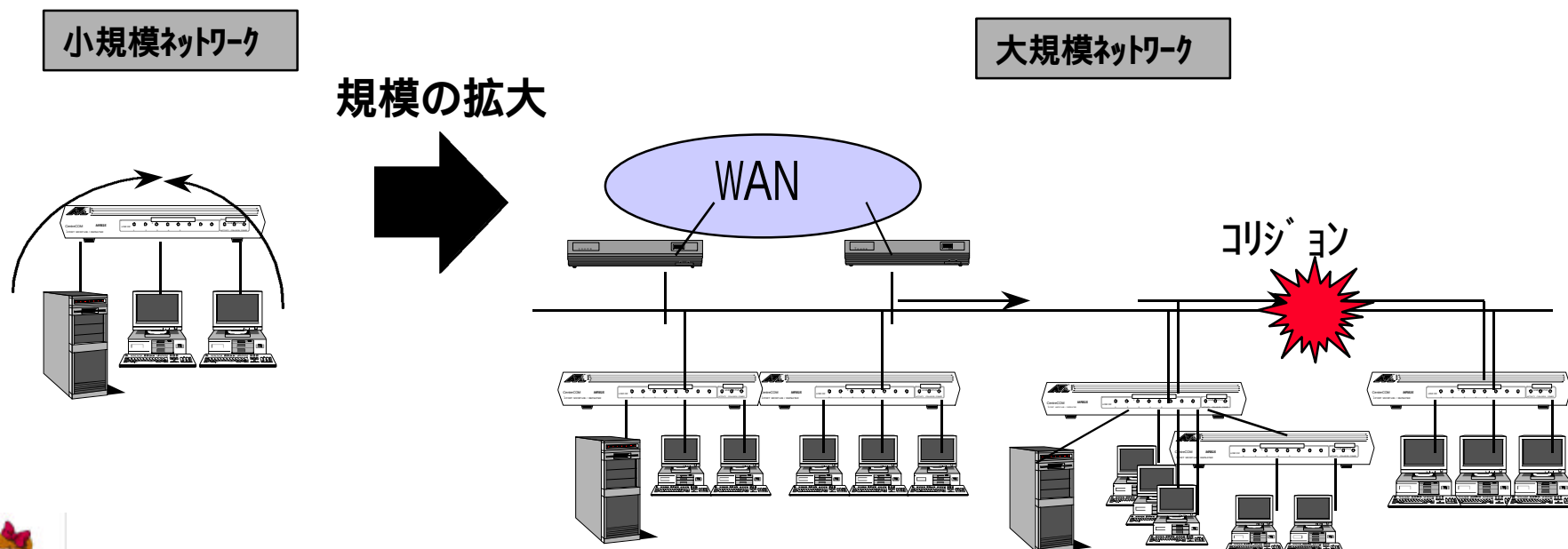
1997 第1版



■セキュリティ-HUBとは？

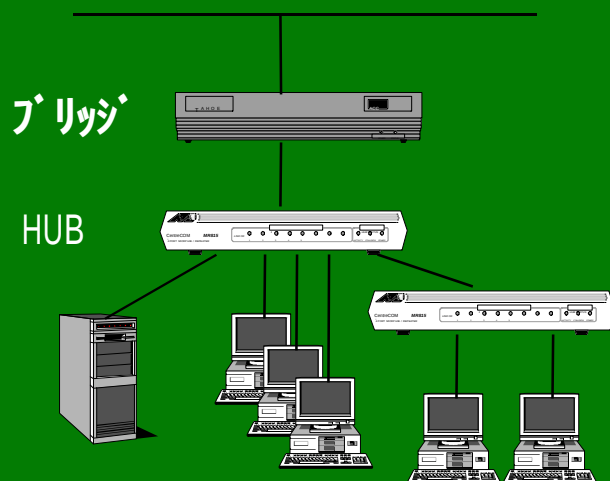
LANの普及に伴い、ネットワーク規模が増大する環境下において、問題となっているのがネットワーク・トラフィックです。

端末が増加することで、バックボーン（幹線）トラフィックが増大し、コリジョン（データ衝突）が多発するようになってきています。



ネットワークトラフィック増大の解決方法
ブリッジ + HUBによるグループ分け
(欠点) ・複雑なネットワーク構成になる
・ブリッジが高価である

【ブリッジ】 + 【HUB】
を使用した解決方法

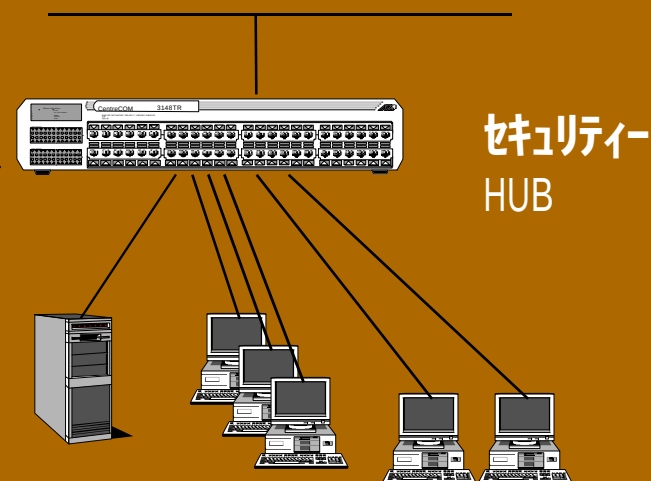


問題解決

セキュリティHUBを使うと？

- ・ネットワーク管理が容易になる
- ・ブリッジ + HUBより安価である

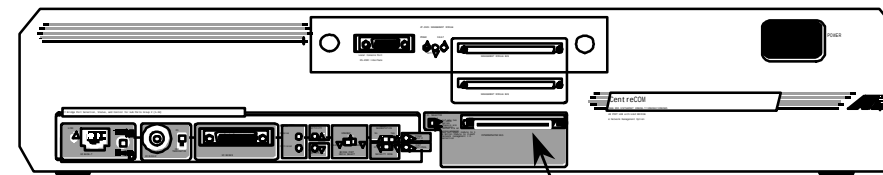
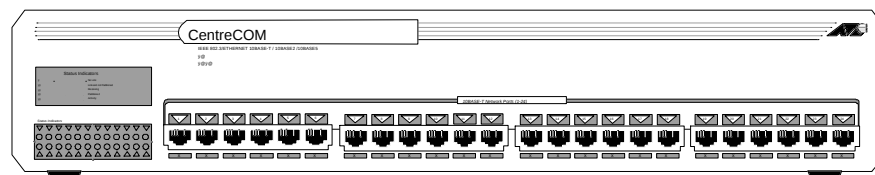
【セキュリティHUB】
を使用した解決方法



【前面】

【背面】

CentreCOM 3124TR

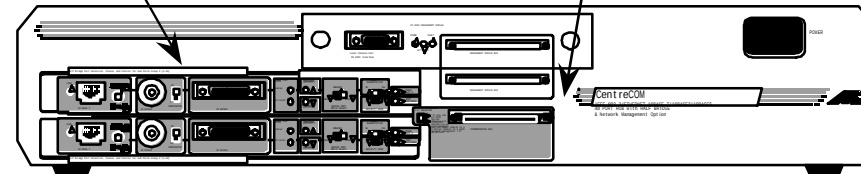
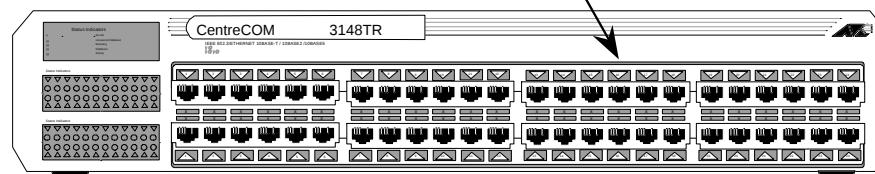


HUBポート

バックボーンポート

インターリットBUS
(スタック接続用)

CentreCOM 3148TR

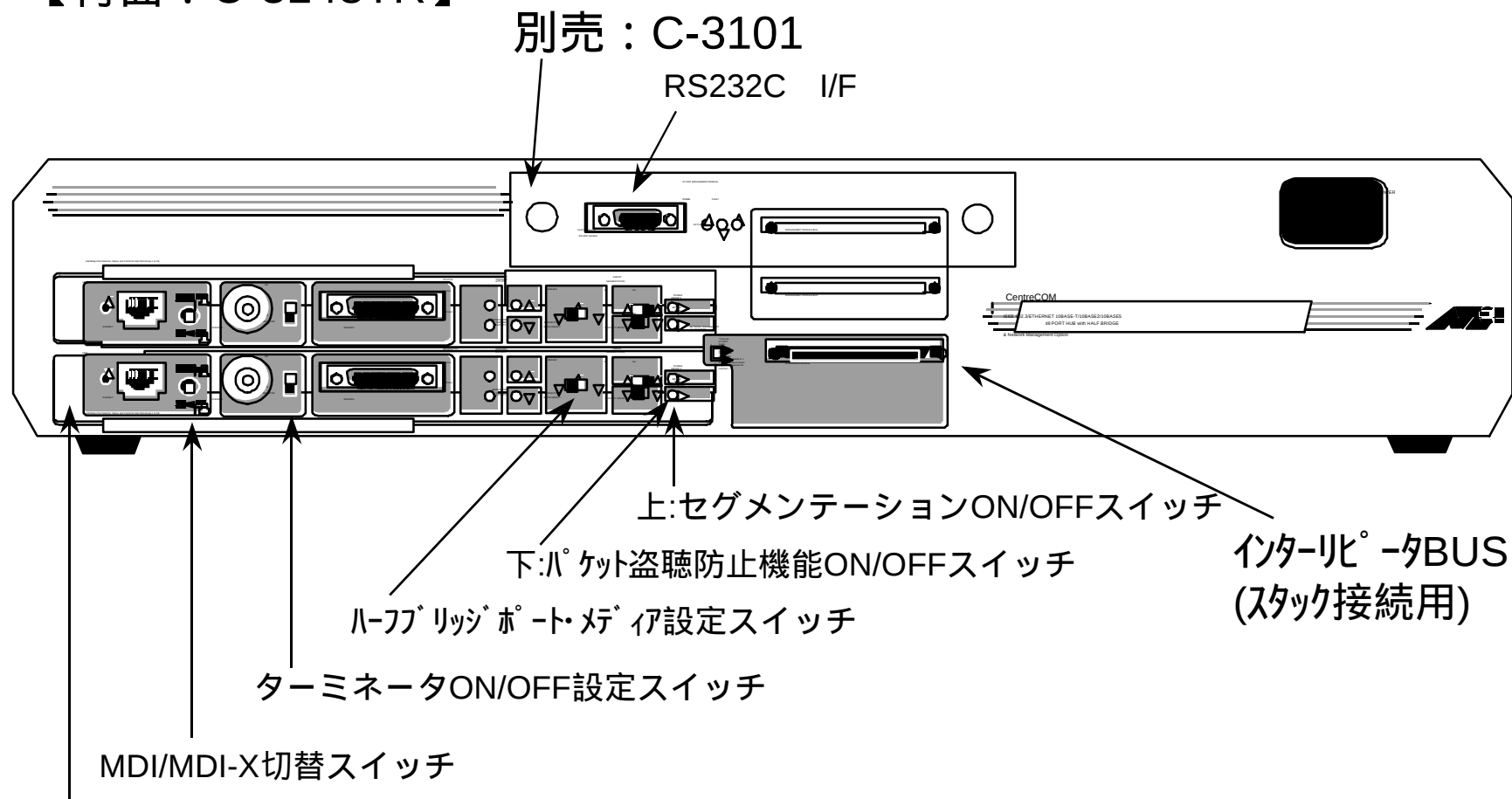


電源 : 50/60Hz、AC100V
 消費電力 : C-3124TR 15W (最大)
 C-3148TR 30W (最大)
 使用条件 : 温度 0 ~ 40
 湿度 5 ~ 80% (結露なき事)

外形寸法 : 432(W) × 286(D) × 92(H)mm
 重量 : CentreCOM 3124TR 3.6Kg
 CentreCOM 3148TR 4.2Kg



【背面：C-3148TR】



ハーフリッジポート(バックボーンポート)：C-3124TR/3148TR共通

*C-3124TRは下1列のみ装備

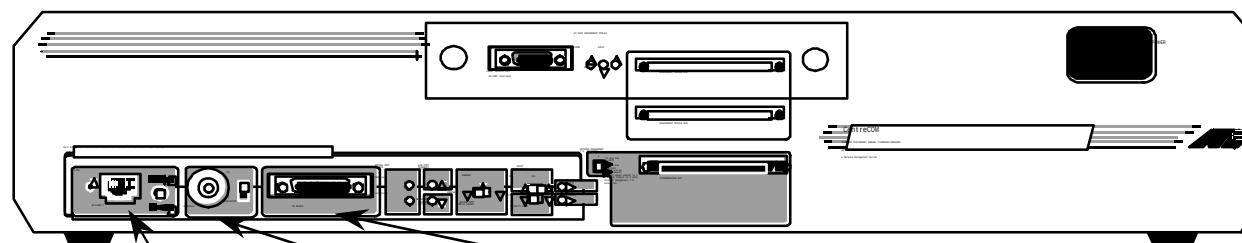


- 10BASE-T規格 (IEEE 802.3) に準拠
- HUBポートとバックボーンポート間にハブブリッジ (フィルタリング) 機能を搭載
- バックボーンポートに10BASE5/2/T 3メディアを用意
 - 1メディアを選択して使用
- セキュリティ機能を搭載
 - ポート盗聴防止
 - MACアドレスセキュリティ (C-3101使用時)
- 管理機能 (別売のC-3101によりSNMP管理可能)
- 拡張性
 - 専用ケーブル (C-31CBL) により最大2段、96ポートまで拡張可能 (C-3148TR × 2の場合)
 - 最大4セグメントまで分割可能 (C-3148TRを2台スタック時)
- 19インチラックマウントキット (C-31C1) 標準添付



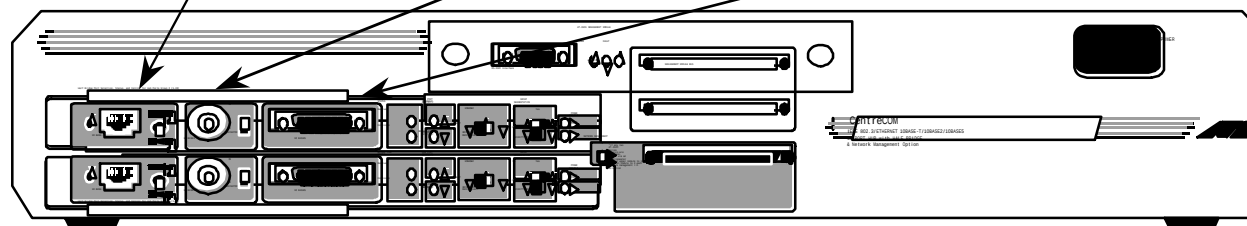
■ バックボーンポートに3メディアを用意(1メディアを選択して使用)

【C-3124TR】



10BASE-T (RJ-45) , 10BASE-2 (BNC) , 10BASE-5 (AUI)

【C-3148TR】



C-3148TRは、バックボーンポート2つを装備 (計3メディア×2セット)

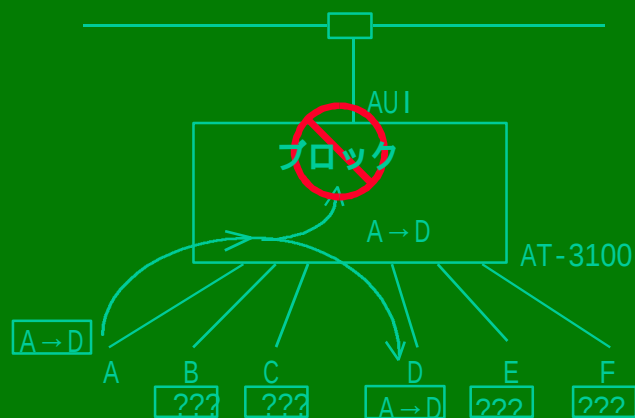


■フィルタリング機能

- ・ワークグループ内通信の際にはフィルタリング機能により、バックボーンへパケットは送信されません。
- ・バックボーン間通信の際にはフィルタリング機能により、ワークグループ内へパケットは送信されません。
- ・もちろんワークグループとバックボーン間の通信時は、パケットをフィワーディングします

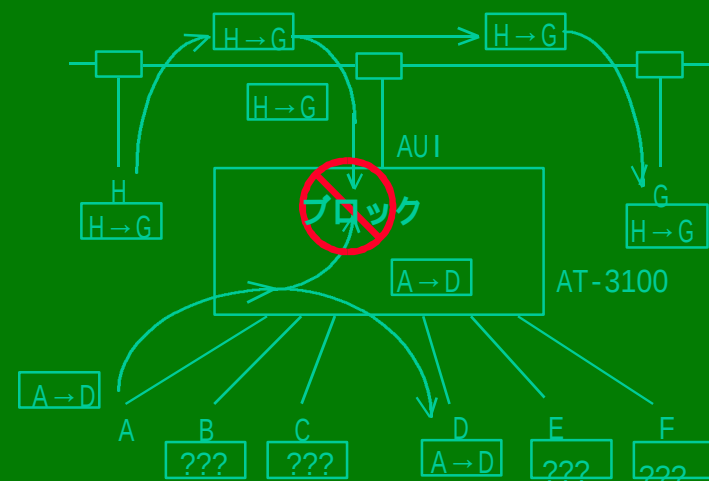
ワークグループ内通信

(1台使用時)



バックボーン間通信

(1台使用時)

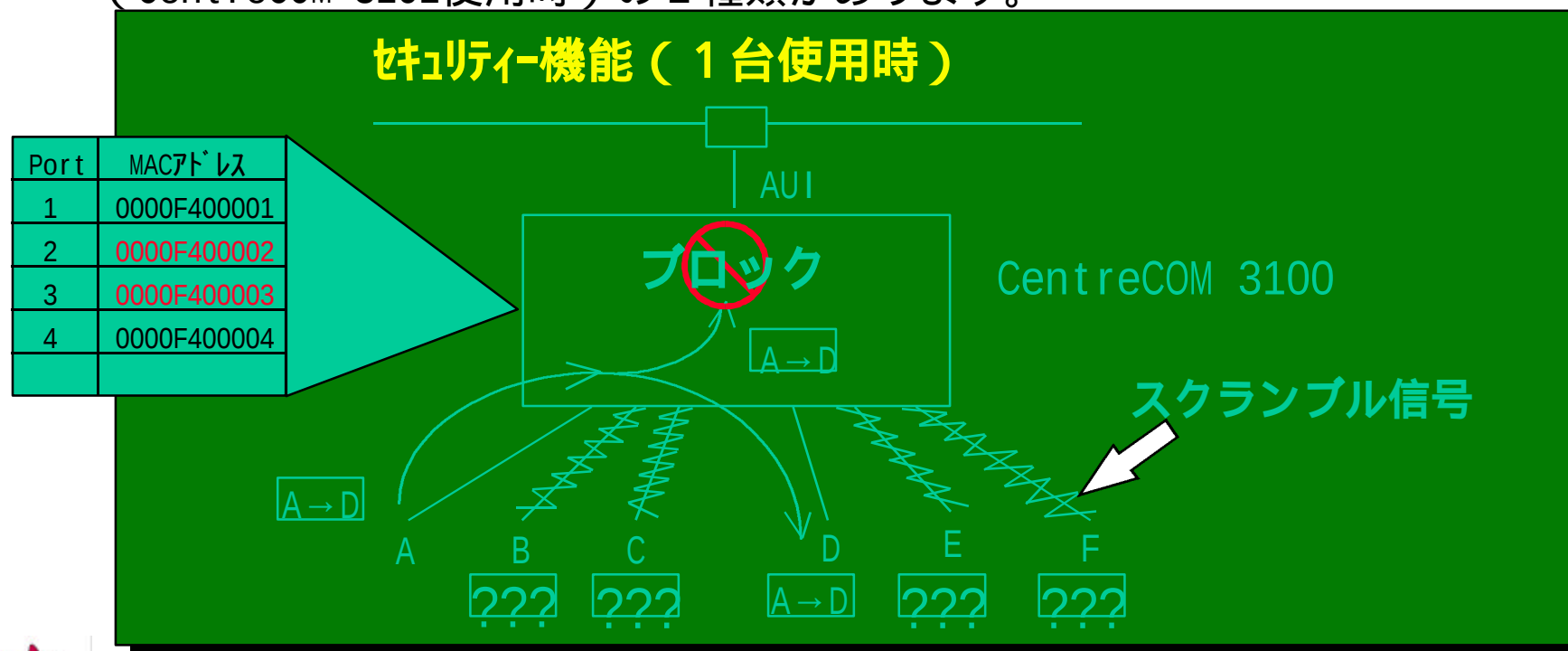


■セキュリティー機能(1)

・パケット盗聴防止機能

パケットを送信する際、MACアドレス別のデータを確認する事により、宛先以外の端末にはスクランブル信号を送信し、パケットデータの不正取得を防止させます。

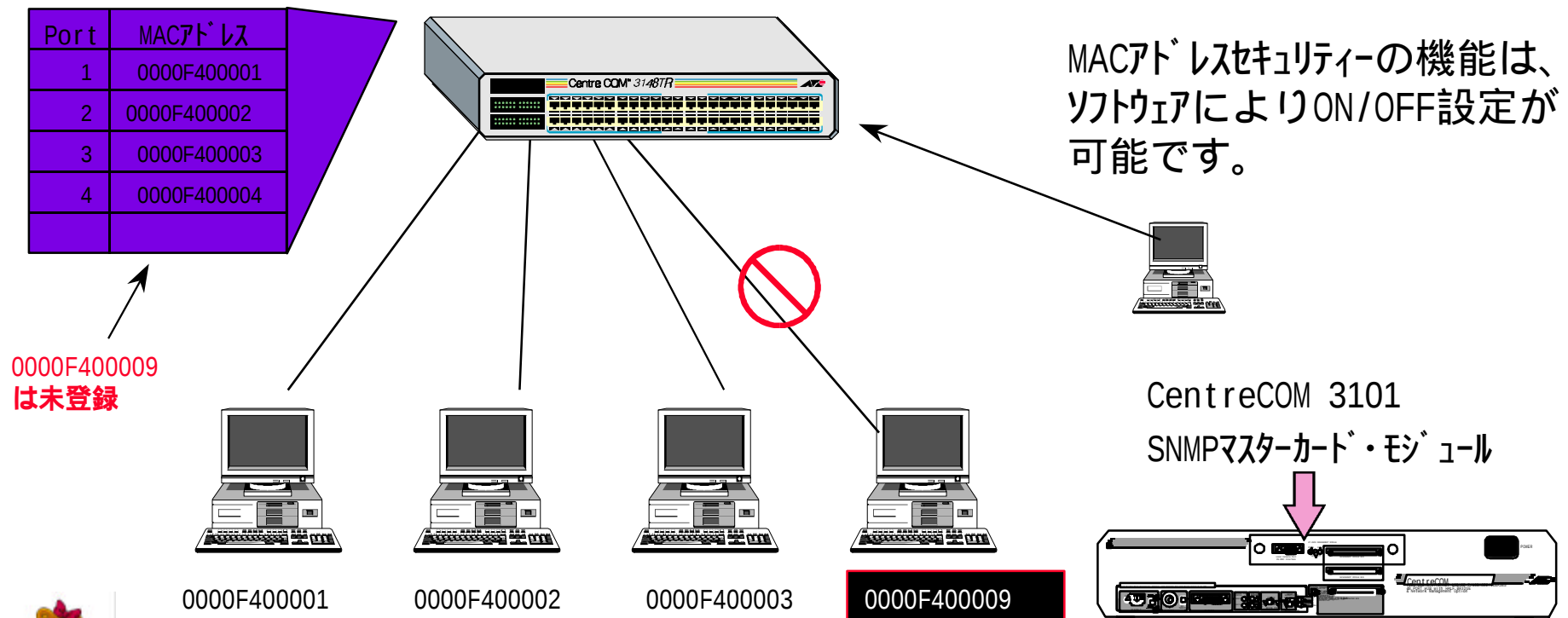
設定方法には、ハードウェアスイッチ（フロントパネル上のスイッチ）、ソフトウェア・スイッチ（CentreCOM 3101使用時）の2種類があります。



■セキュリティ機能(2)

・MACアドレスセキュリティ機能

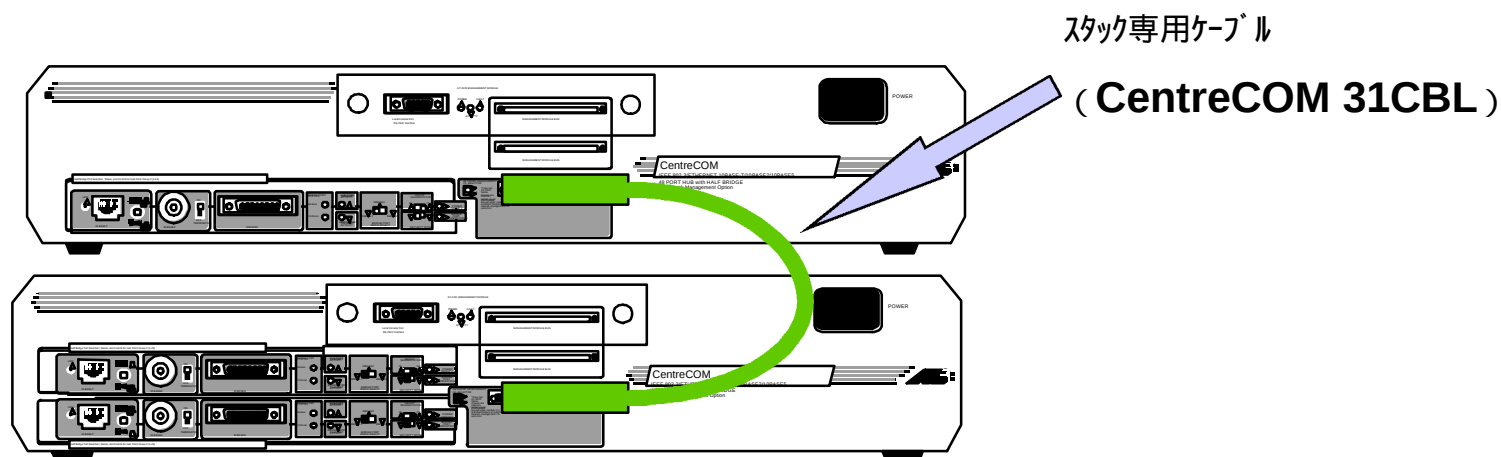
CentreCOM 3101 SNMPマスターカード・モジュールを装着する事で、予め登録された端末のMACアドレスと異なる端末（不正接続端末）が接続された場合、この端末の使用を不許可とし、ネットワークへの不正侵入を防止します。



■拡張性(スタック)

スタック専用ケーブル (CentreCOM 31CBL) によるスタック方式を採用

- ・ 2台までのスタック接続が可能 (最大96ポート)
- ・ 1台のHUBとして使用可能
- ・ スタック時でも1台のC-3101でスタック全体を管理可能



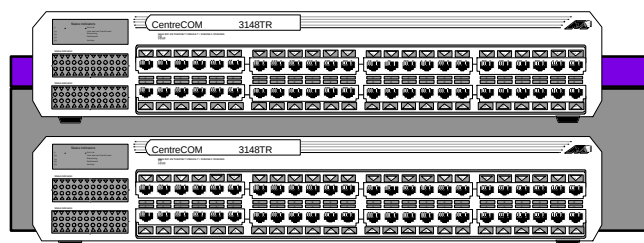
* この場合は、3124TR+3148TRの組み合わせにより、72ポートの1台のHUBとして動作します。



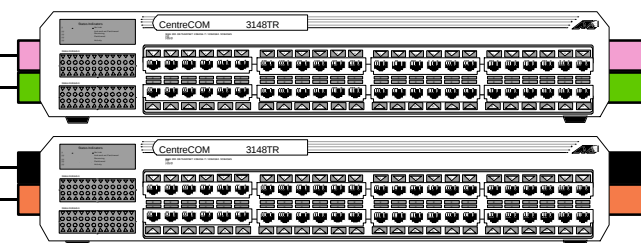
■拡張性(セグメント分割)

- ・24ポート毎のセグメント分割が可能
- ・最大4セグメントまでの接続が可能(CentreCOM 3148TR 2台スタック時)

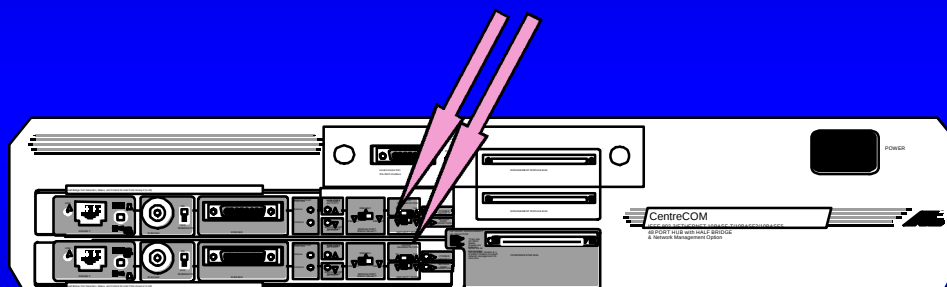
2分割



4分割



セグメンテーションON/OFFスイッチ



分割されたセグメントが、それぞれワークグループとして機能します。

それぞれのセグメントに、10Mbpsの帯域が確保されます。

■ CentreCOM 3101

別売のSNMPマスターカードモジュール(CentreCOM 3101)により以下のことが実現できます

管理機能

- SNMP(MIB、リポートMIB、PrivateMIB)によるネットワーク管理
別売のVistaManager、AT-View/JによりGUIベースの管理可能

- Telnetによる管理、各種設定

*ソフトウェアのアップグレードは別売の「CentreCOM 31S5」により簡単に可能

MACアドレスセキュリティ機能

- ネットワークへの不正侵入を防止できます

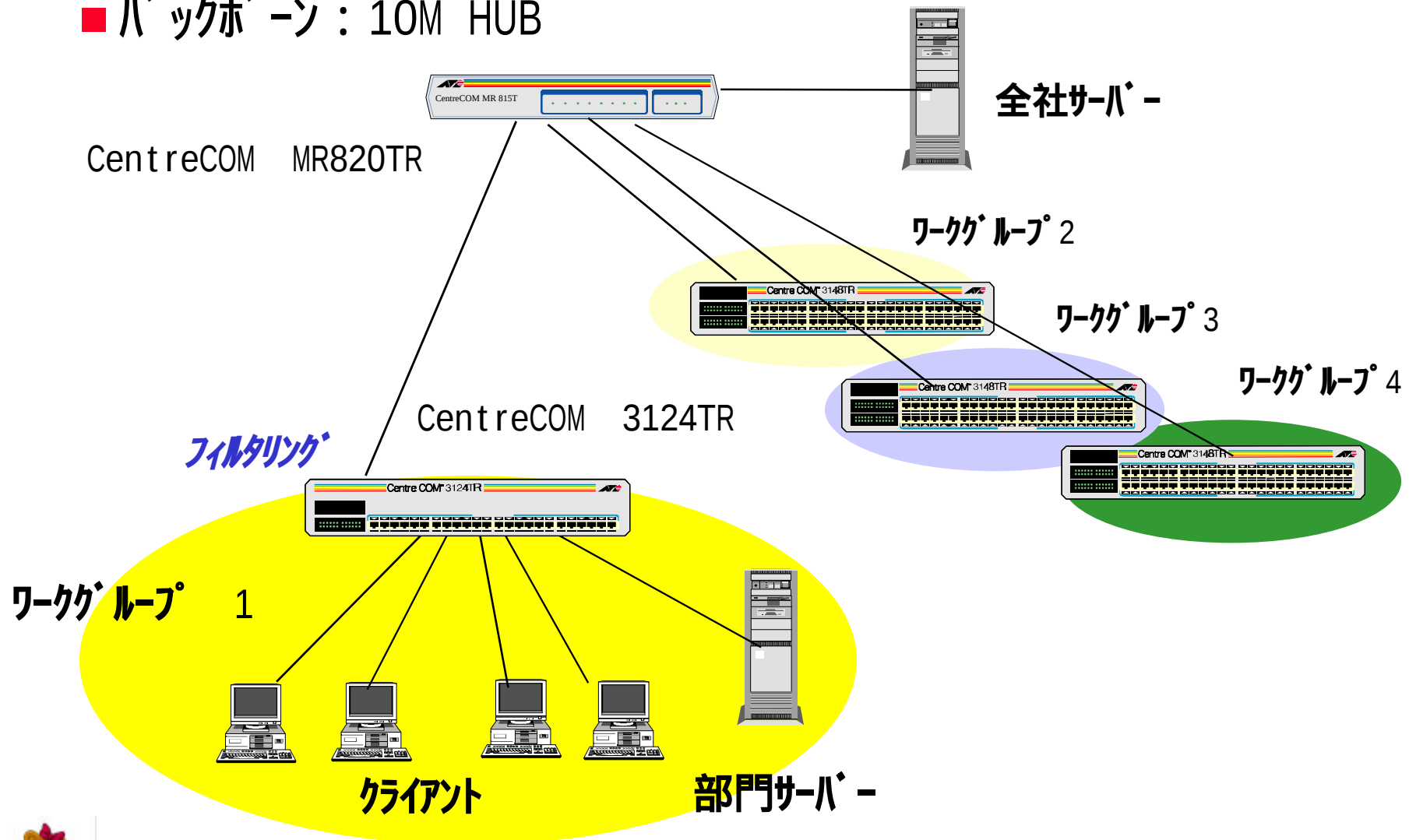


■ 商品構成

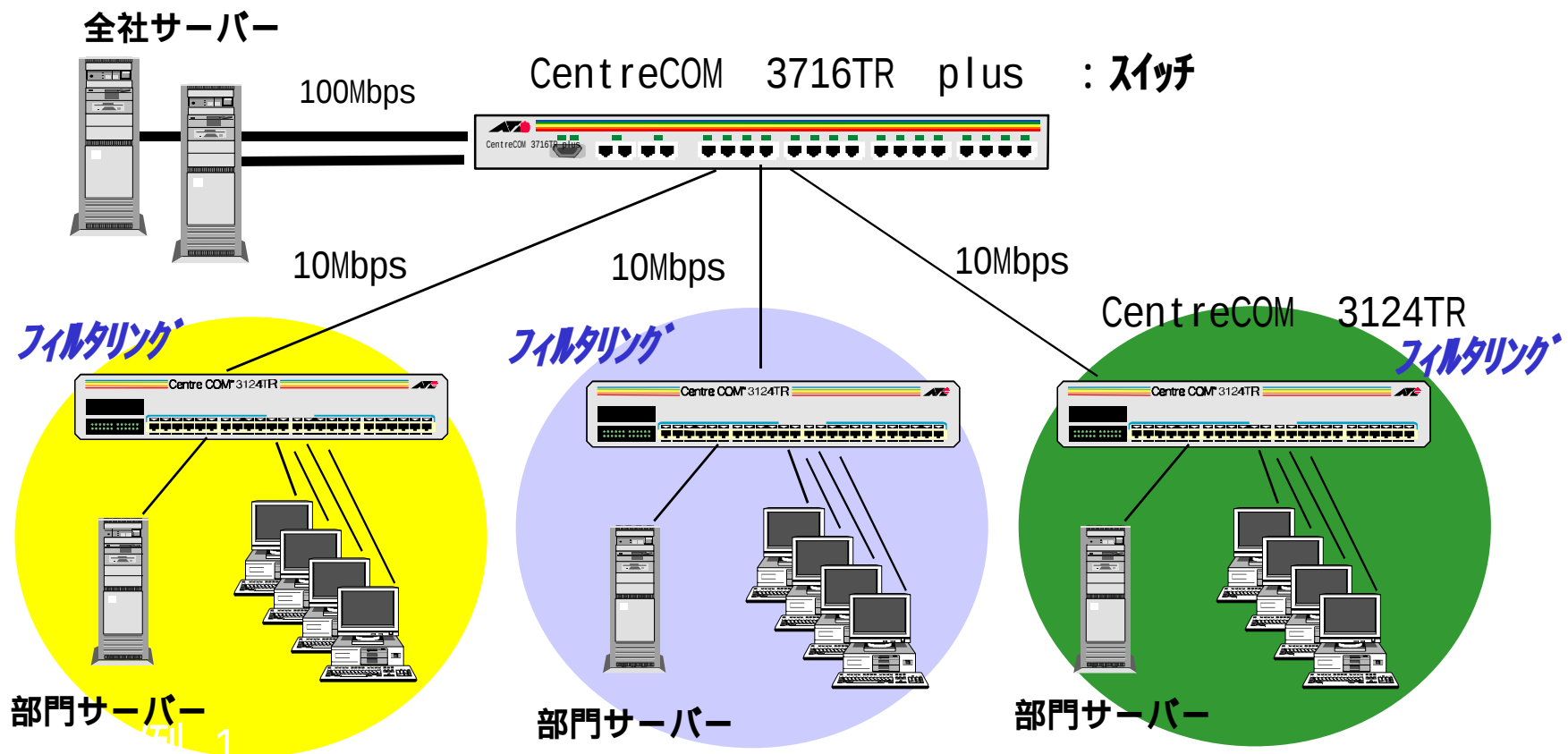
- CentreCOM 3124TR 本体 24ポート
- CentreCOM 3148TR 本体 48ポート
- CentreCOM 3101 SNMPマネージメント・モジュール
- CentreCOM 31CBL スタック用ケーブル
- CentreCOM 31S5 ソフトウェア・アップグレード・モジュール
- CentreCOM 31C1 19インチラックマウントキット(C-3124TR/3148TRに標準添付)
- CentreCOM VT-Kit VT100エミュレーション・ソフト & RS232Cケーブル & コネクタ



■ バックボーン : 10M HUB



■ バックボーン : スイッチ



■ セグメント分割

CentreCOM MR820TR : 10M HUB

